

各教科等目標設定シート（各教科等チェックシート改訂版）

学部・学年	氏 名
2年	Fさん

中学部・中学校版

教科等	内 容	目 標・内 容																
		小学部 (段階)			小学校 (学年)						中学校 (学年)			前期		後期		
		1	2	3	1	2	3	4	5	6	1	2	3	目標(※4)	内容	目標(※4)	内容	
生活 (特別支援学校)	ア 基本的生活習慣 イ 安全 ウ 日課・予定 エ 遊び オ 人との関わり カ 役割 キ 手伝い・仕事 ク 金銭の扱い ケ きまり コ 社会の仕組みと公共施設 サ 生命・自然 シ ものの仕組みと働き																	
国語	知識及び技能 A 聞くこと・話すこと B 書くこと C 読むこと														本や文章から必要な知識や情報を集め、聞き手がわかりやすいように話す内容を整理して表現し、相手の反応を見ながら内容を工夫して伝え、身近に起きたことにも使おうとすることができる。	○中学1年までに学習した常用漢字の読み ○身近に起こったこと、経験したことを思い浮かべ、まとめ ○自分の考えを発表		
社会 (中 地歴公)	知識及び技能 ア 社会参加ときまり イ 公共施設と制度 ウ 地域の安全 エ 産業と生活 オ 我が国の地理や歴史 カ 外国の様子														自然や社会的条件について学び、地域の特徴と関連付け、多面的に考え、よりよい社会の実現を目指して、地域の課題を主体的に追究することができる。	○アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州 ○47都道府県の名称と位置 ○我が国における島の位置 ○頒布会参加(公共の交通機関・販売)		
算数・数学	A 数と計算 B 図形 C 測定(2段階変化と関数) D データの活用 数学的活動														加法及び減法、乗法除法に関わる数学的活動を通して計算する技能を身に付け、計算の意味や計算に関して立寄り性質を見出し、粘り強く考える力を身に付けることができる。	○正負の計算の加法減法 ○正負の計算の乗法除法 ○和・差・積・商(以下以上未満など)理解し数学的活動の取組		
理科	A 生命 B 地球・自然 C 物質・エネルギー														地層と大地の変化、音と光の性質について、水中のさまざまな生物について理解し観察や実験を通して関係性を表現し、科学見直しを持ちたり振り返ったりし探究しようとするすることができる。	○観察実験 ○植物のはたらきを調べる実験 ○地震と大地 ○光と音 ○物質の成り立ちと化学変化		
音楽	知識及び技能 A 表現 B 鑑賞														合唱曲の構造を理解したり、音楽の多様性を知り、思いや意図を持ってふさわしい取り方を表現し、積極的に学習活動に取り組むことができる。	○合唱曲の歌詞の意味の理解 ○歌奏技への親しみ・オペアの魅力 ○世界の諸民族の音楽、日本の郷土芸能や伝統音楽		
図工・美術	A 表現 B 鑑賞														色んな作品製作を通して色紙の基礎を学び、深く対象から取り取った特徴や印象を表現し、学習活動に主体的に取り組もうとすることができる。	○ストーンアート・いろいろな風神雷神の味わい ○身近な自然物、レタリング、絵文字、ペーパーナイフ製作 ○友人の作品のよいところを見つけ表現		
保健体育	A 体づくり運動 B 器械運動 C 陸上運動 D 水泳運動 E 球技 F 武道 G ダンス H 保健														運動やスポーツの意義や効果や喜びや安全な行い方について理解するとともに基本的な技能を身に付け、自己の健康を築き、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間への思い、体力づくり運動に主体的に取り組むことができる。	○陸上競技(短距離走・長距離走) ○球技(バレーボール・バドミントン) ○感染症予防と健康を守る取り組み ○環境の変化への影響 ○災害と環境 ○ダンス(フォークダンス) ○剣道		
技術・家庭															生物を育てる技術、目的とする生物の育成計画、衣服の作りかたや入れかたを表現し、振り返って改善したり、生活を工夫し実践しようとするすることができる。	○衣服の選択について課題の解決に取り組む ○家庭性の基本的な知識 ○布製品の製作 ○頒布会への取り組み		
職業・家庭	職業分野 (A 職業生活 B 情報機器の活用 C 産業現場等における実習) 家庭分野 (A 家族・家庭生活 B 衣食住の生活 C 消費生活・環境)														働くことの目的や進路に関わるなどについて理解し、意欲や見直しをもて取り組み、作業や実習に達成感を得て進んで活動することができる。	○ハチマキ製作 ○職業や進路調べ ○買い物・使い方		
外国語(※1)	知識及び技能 思考力・判断力・表現力等														小学校で習った表現を使ってやり取りしたり、自分の考えや気持ち伝える技能を身に付け、情報を整理しながら英語で表現したり、身近に簡単な事柄について積極的に活動できる。	○アルファベットの知識のもとに単語の読み、書き等し ○疑問に思うことを知るために進学手段や朝食など普段の行動を質問 ○場面での表現		
外国語活動	知識及び技能 思考力・判断力・表現力等																	
特別の教科道徳	A 主として自分自身に関すること B 主として人との関わりに関すること C 主として集団や社会との関わりに関すること D 主として生命や自然、崇高なものに関すること														あいさつや礼儀の意義について考えを述べて、時と場合に応じた行動や態度を知り、相手の気持ちを汲み取ることができる。	○場面を視した絵を見てどんな気持ちかをそれぞれの立場に立つ話し合い		
総合的な学習の時間 (※3)	現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な課題 地域や学校の特色に応じた課題 児童の興味・関心に基づく課題														興味に基づいた将来の進路や居住地及び他市の地域性などについて理解し、それらを他者に伝えるための情報を整理して、自分から話し合いに参加しようとするすることができる。	○学級の話し合いに協力し、役割をもった活動への参加 ○上級学校調べ ○行事(修学旅行、体育祭)		
特別活動 (※3)	学級活動 児童会活動 クラブ活動 学校行事														交流学級や青葉学級での自分の役割を理解し、他者の役に立ったり仕役に貢献したりすることについて考え、積極的に活動に参加することができる。	○身の回りの整理や挨拶など ○学級、学年の役割		

自立活動目標設定シート（自立活動フローシート改訂版）

学部・学年	3年	氏名	Eさん
--------------	----	-----------	-----

障害の状態、発達や経験の程度、興味・関心、学習や生活の中で見られる長所やよき、課題等について

情報をまとめて、学習や生活の状況・様子を記載する

・療育手帳非該当である。
 ・電車や家電製品が好きで、教室でも電車や踏切の音をよく聞いている。
 ・慢性鼻炎であり、常にティッシュを携帯し、考えるときには鼻をかむことが多い。
 ・持ち物などは長く使用し、替えることを嫌う。学校では強いこだわりはないが、家庭では身に付けるものに強いこだわりがあるとのことである。
 ・友達と関わることへの関心がない様子で、友達と関わることは少ない。必要な関わりはもつことができ、困ったときに担任に自分から質問することもできる。状況に応じた報告や必要のない雑談などは苦手である。
 ・体育は嫌いではないが、日常的に動きがぎこちないことがある。

自立活動の区分に即して整理する

実態把握

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
・慢性鼻炎であり鼻をかむことが多い。薬は服用している（小児用市販薬）が常にティッシュを持ち歩いている。考えるときには鼻をかむことが多い。	・学校では何かに依存していることは無いが、持ち物などは長く使用し変えることを嫌う。母親が隣にいる時は常に母親に触れている。家庭では身に付けるものにこだわりが強く困っている状況。	・友達との関わりが少ない。また、友達との関わりに関心がない。	・音に敏感で耳を澄まして外の音（電車の音や踏切の音）をよく聞いている。 ・興味があるものは触ったり、近づいたりする行動がある。	・ぎこちない動きもあるが、体育は嫌がらずに参加している。	・困った時は担任に聞くことができる。質問すると答えることができるが、状況に応じた報告や相談、雑談することが苦手である。

○年後の姿の観点から整理する（生活年齢や卒業までの年数を考慮し、どのような力を育むとよいかを記載する）

○高等学校または特別支援学校高等部の進学に向けて、集団行動に必要な力を身に付ける。
 ○状況に応じた連絡や報告、場に応じたコミュニケーションの力を向上させる。

課題の整理

実態把握をもとに、課題を抽出し、中心的な課題を導き出す

・友達との関わりに関心がなく、友達と関わる機会が少ないが、一緒に活動することで集団行動を経験する必要がある。
 ・集団行動を円滑にするために、他者とコミュニケーションをとる経験を積み重ねる必要がある。
 ・自分が困ったときだけでなく、状況に応じた報告や相談の習慣を身につける必要がある。

課題に基づき設定した指導目標（ねらい）を記す

指導目標（年間）	○自分から報告・連絡・相談を行うことができる力を身に付ける。 ○状況に応じたコミュニケーション能力を身に付け、周囲と関わりながら自立した生活ができる。
-----------------	--

指導目標を達成するために必要な項目を選定する

	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
選定した項目	①生活のリズムや生活習慣の形成	①情緒の安定	①他者とのかかわりの基礎	①保有する感覚の活用	①姿勢と運動・動作の基本的技能	①コミュニケーションの基礎的能力
	②病気の状態の理解と生活管理	②状況の理解と変化への対応	②他者の意図や感情の理解	②感覚や認知の特性についての理解と対応	②姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用	②言語の受容と表出
	③身体各部の状態の理解と養護	③障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲	③自己の理解と行動の調整	③感覚の補助及び代行手段の活用	③日常生活に必要な基本動作	③言語の形成と活用
	④障害の特性の理解と生活環境の調整		④集団への参加の基礎	④感覚を総合的に活用した周囲の状況に合わせた把握と状況に応じた行動	④身体の移動能力	④コミュニケーション手段の選択と活用
	⑤健康状態の維持・改善			⑤認知や行動の手掛かりとなる概念の形成	⑤作業に必要な動作と円滑な遂行	⑤状況に応じたコミュニケーション

色別して利用

選定された項目を関連付け具体的な指導内容を設定する

具体的な指導内容	・まずは支援学級の生徒同士が関わる中で話し合ったり、協力したりしながら進める課題や作業を取り入れ、学級の友達から認められるようにする。その後、同学年の友達との関わりやすさに気づき、一緒に活動する楽しさを味わう。	・生活における様々な場面を絵で見て、登場人物の気持ちを想像したり考えたりする。	・活動内容や活動時の報告・連絡・相談の方法を教師が事前に伝え、見通しをもって活動に取り組むとともに、活動中に報告や相談を行うことができるようにする。
----------	---	---	--

指導場面（教科等・単元名等）	教科等	単元名等	教科等	単元名等	教科等	単元名等
	作業		「ハチマキを納品しよう」	生活単元	「高校見学へ行こう」	自立活動
生活単元		「頒布会を成功させよう」	生活単元	「歓迎会・お別れ会を成功させよう」		

	前 期	後 期
自立活動目標	身近な人との関わりを通して安定した関係を築くことができる。	

自立活動目標設定シート（自立活動フローシート改訂版）

学部・学年	2年	氏名	Fさん
-------	----	----	-----

障害の状態、発達や経験の程度、興味・関心、学習や生活の中で見られる長所やよさ、課題等について情報をまとめて、学習や生活の状況・様子を記載する

- ・ゲームが好きで、夜遅くまでやっていることがある。
- ・睡眠の乱れから、集中力が持続しないことがある。また、眠気からイライラする様子も見られる。
- ・全体の場では質問することが難しいが、一人になると質問できる。
- ・全体に向けて指示をした際には、自信がないときは周りの様子を見ながら行動する。
- ・話を始めると、好きなことを一方的に話すことが多い。
- ・時々イライラする様子が見られるが、言動が荒れることはあっても、他者に危害を加えることはない。
- ・指先の巧緻性が低く、細かい作業が苦手である。ハチマキを後ろ手に結ぶことなどは難しい。
- ・自分の意見を伝えたり、他者の意見を聞き入れて相手の考えを理解したりすることが苦手である。

自立活動の区分に即して整理する

健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
・ゲームが好きで夜遅くまでやっていることが多い。そのため、授業時は眠気との闘いが多く、集中力が持続しない。	・眠気からイライラすることもあるが相手に危害を加えることはない。	・教師が一人になると話しかけ、一方的に話すため会話が成立しにくい。	・集団での指示は、周囲を確認して行動する。	・細かい作業が苦手。靴の紐結びは練習してできるようになった。ハチマキを後ろ手に結ぶことは難しい。	・相手の立場を意識することが難しい。グループ活動では自分の意見を伝えることが難しいことが多い。決められた言葉は練習するとできるようになる。

○年後の姿の観点から整理する（生活年齢や卒業までの年数を考慮し、どのような力を育むとよいかを記載する）

将来の自立に向けて、自分から生活リズムを整えることができるようになることとよい。
高等学校への進学に向けて、他人事ではなく、自分事として物事を捉えることや、他者の立場に立った考え方ができるようになるとよい。

実態把握をもとに、課題を抽出し、中心的な課題を導き出す

- ・安定して学習に向かうことができるように、自ら生活習慣を整えることが必要である。
- ・相手の考えや感じ方を意識して関わることができるように、他者の気持ちについて考える学習をすることが必要である。
- ・自分の意見をまとめ、他者の意見を取り入れることで、他者の立場について考えることが必要である。

課題に基づき設定した指導目標（ねらい）を記す

- 指導目標（年間）**
- 企業への就労を目指し、適切な方法で連絡・報告を行うことができる力を身に付ける。
 - 一人で行動できる範囲が広がるように、相手や状況に応じたコミュニケーション能力を身に付け、自立した生活ができる。

指導目標を達成するために必要な項目を選定する

	健康の保持	心理的な安定	人間関係の形成	環境の把握	身体の動き	コミュニケーション
選定した項目	①生活のリズムや生活習慣の形成	①情緒の安定	①他者とのかかわりの基礎	①保有する感覚の活用	①姿勢と運動・動作の基本的技能	①コミュニケーションの基礎的能力
	②病気の状態の理解と生活管理	②状況の理解と変化への対応	②他者の意図や感情の理解	②感覚や認知の特性についての理解と対応	②姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用	②言語の受容と表出
	③身体各部の状態の理解と養護	③障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲	③自己の理解と行動の調整	③感覚の補助及び代行手段の活用	③日常生活に必要な基本動作	③言語の形成と活用
	④障害の特性の理解と生活環境の調整		④集団への参加の基礎	④感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握と状況に応じた行動	④身体の移動能力	④コミュニケーション手段の選択と活用
	⑤健康状態の維持・改善			⑤認知や行動の手掛かりとなる概念の形成	⑤作業に必要な動作と円滑な遂行	⑤状況に応じたコミュニケーション

レビューして利用

選定された項目を関連付け具体的な指導内容を設定する

具体的な指導内容	・家庭にも働きかけを行い、家庭での過ごし方や生活リズムを考えてもらいつつ、学習環境を整える。	・生活における様々な場面を絵で見て、登場人物の気持ちを想像したり考えたりすることで、他者の意図や感情を理解したり、場に応じて適切な行動を学ぶ。	・他者と関わる機会を意識的に設定し、相手の考えや自分の思いなどについて、整理して考える機会を設定する。
----------	--	---	---

指導場面 (教科等・単元名等)	教科等	単元名等	教科等	単元名等	教科等	単元名等
	作業学習		「ハチマキを納品しよう」	生活単元	「歓迎会・お別れ会を成功させよう」	自立活動
生活単元		「頒布会を成功させよう」				

	前期	後期
自立活動目標	支援学級で友達との関わりを増やし、他者の気持ちを理解できる力を付ける。できることを褒めることで自信を付け、学級の友達から良い注目が得られるようにすることで、よりよい関係を学ぶ。	

各教科等を合わせた指導 教科等別シート【前期】

		Eさん	Fさん
国語	内容	○常用漢字（2年）の読み ○出来事を順序良く整理 ○自分の考えの発表	○中学1年までに学習した常用漢字の読み ○身近に起こったこと、経験したことを思い浮かべ、まとめ ○自分の考えを発表
	指導形態	生単	生単 作業
	単元（略称）	頌、見	頌 ハ
社会	内容	○47都道府県の名称と位置 ○我が国における県の位置 ○頒布会参加（公共の交通機関・販売） ○調べる内容を整理し、わかりやすくまとめ	○アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州 ○47都道府県の名称と位置 ○我が国における県の位置 ○頒布会参加（公共の交通機関・販売）
	指導形態	生単	生単
	単元（略称）	頌、見	頌
数学	内容	○時間や数、金銭などの数量の表現・処理 ○数学で学んだことを生活や学習に活用する。 ○加法及び減法に関して成り立つ性質を理解し、利用	○正負の計算の加法減法 ○正負の計算の乗法除法 ○和・差・積・商・以下以上未満など理解し数学的活動の取組
	指導形態	生単 作業	生単 作業
	単元（略称）	頌、見 ハ	頌 ハ
職業・家庭	内容	○ハチマキ製作 ○職業や進路調べ ○買い物・使い方	○ハチマキ製作 ○職業や進路調べ ○買い物・使い方
	指導形態	生単 作業	生単 作業
	単元（略称）	頌、見 ハ	頌 ハ
外国語	内容	○単語の読み ○アルファベットの知識 ○疑問に思うことを質問（通学手段や朝食など） ○場面の表現	○アルファベットの知識のもとに単語の読み、書き写し ○疑問に思うことを知るために通学手段や朝食など普段の行動を質問 ○場面の表現
	指導形態	生単	生単
	単元（略称）	頌	頌
自立活動	内容	・まずは支援学級の生徒同士が関わる中で話し合ったり、協力したりしながら進める課題や作業を取り入れ、学級の友達から認められるようにする。その後、同学年の友達との関わりの良さに気づき、一緒に活動する楽しさを味わう。 ・生活における様々な場面を絵で見て、登場人物の気持ちを想像したり考えたりする。 ・活動内容や活動時の報告・連絡・相談の方法を教師が事前に伝え、見通しをもって活動に取り組むとともに、活動中に報告や相談を行うことができるようにする。	・家庭にも働きかけを行い、家庭での過ごし方や生活リズムを考えてもらいつつ、学習環境を整える。 ・生活における様々な場面を絵で見て、登場人物の気持ちを想像したり考えたりすることで、他者の意図や感情を理解したり、場に応じて適切な行動を学ぶ。 ・他者と関わる機会を意識的に設定し、相手の考えや自分の思いなどについて、整理して考える機会を設定する。
	指導形態	生単 作業	生単 作業
	単元（略称）	頌、見 ハ	頌 ハ

教科等の前期合計時数 2年生		教科等の前期合計時数 3年生	
教科別時数	合わせた指導時数	教科等別時数	合わせた指導時数
61		61	
51	10	51	10
66		66	
51	15	51	15
70		70	
51	19	51	19
42		59	
0	42	17	42
52		52	
51	1	51	1
29		29	
17	12	17	12

教科等の前期合計時数 2年生		教科等の前期合計時数 3年生	
教科別時数	合わせた指導時数	教科等別時数	合わせた指導時数
61		61	
51	10	51	10
66		66	
51	15	51	15
70		70	
51	19	51	19
42		59	
0	42	17	42
52		52	
51	1	51	1
29		29	
17	12	17	12

各教科等を合わせた指導 単元別シート【前期】

指導形態	時期(月)	単元略称	Eさん		Fさん		単元時数	生活	国語	社会	算数数学	理科	音楽	図工美術	体育	職業家庭	外国語	道徳	特活	自活		
			内容	教科等	内容	教科等																
生活単元学習	6~7	高校見学へ行こう	<ul style="list-style-type: none"> 高校へ通うことを想定し、日常生活に必要な時刻や時間を求める(数学) 自分たちの都道府県、市町村について地理的環境の特色を調べる(社会) 切符の購入方法や通学時間など公共施設の役割に関わることを、生活の中で利用するよう考える(社会) 職業や進路に関わることについて調べる(職・家) 「朝の会」の司会を通して、相手や目的に応じて、自分の伝えたいことを明確にする(国語、自活) 	数・社・国・職家・自			20		5	5	4						2					4
	4~6	頒布会を成功させよう	<ul style="list-style-type: none"> 時間の単位に着目し、簡単な時刻や時間の求め方を日常生活に生かす(数学) 接客練習を通して、販売の仕事は、消費者のことを考え工夫して行われることがわかり、正しい言葉遣いで接客する(社会、国語、自活) お金のやり取りを練習することで、生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知り、実践しようとする(職・家) 自分たちの県の位置、県全体の地形などに着目して、見の様子を捉え、最寄り駅を知るなど地理的環境の特色を考え、表現する(社会) アルファベットの知識のもとに単語を読んだり書き写したりする(外国語) 	数・社・国・自・職家・外	<ul style="list-style-type: none"> 接客において他者と関わることで、言葉遣いや態度によって相手に与える印象について考え、言葉遣いを意識して丁寧に接客をする(国語、自活) 切符の購入方法や通学時間など公共施設の役割に関わる学習活動を通して、生活の中での利用を考える(社会) 接客練習を通して、販売の仕事は、消費者のことを考え工夫して行われることを考える(社会) 時間の単位に着目し、簡単な時刻や時間の求め方を日常生活に生かす(数学) お金のやり取りを練習することで、生活に必要な物の選び方、買い方、計画的な使い方などについて知り、実践しようとする(職・家) 自分たちの県の位置、県全体の地形などに着目して、見の様子を捉え、最寄り駅を知るなど地理的環境の特色を考え、発表において表現する(社会、国語) アルファベットの知識のもとに単語を読んだり書き写したりする(外国語) 	国・自・社・数・職家・外	45		5	10	5						20	1				4
	9~10	ハチマキを納品しよう	<ul style="list-style-type: none"> 在庫管理の中で、数量に進んで関わり、数学的表現・処理をすることも、数学で学んだことよさを理解し、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う(数学) 作業や実習等について達成感を得て進んで取り組む(職・家) 在庫管理をすることで、コンピューター等の情報機器を扱い、体験したことや自分の考えを表現する(職・家、自活) 	数・職家・自	<ul style="list-style-type: none"> 在庫管理の中で、数量に進んで関わり、数学的表現・処理をすることも、数学で学んだことよさに気づき、そのことを生活や学習に活用しようとする態度を養う(数学) 作業や実習等について達成感を得る(職・家) 在庫管理をすることで、コンピューター等の情報機器を扱い、体験したことなどを他者に伝える(職・家、国語) 相手に与える印象を意識した丁寧な行動を考えられるように、他クラスの生徒や教師と製品のやり取りを行う(自活、国語) 	国・数・職家・自	34				10						20					4
前期合計							99	0	10	15	19	0	0	0	0	0	42	1	0	0	12	

同じ学級でも生徒によって参加する単元が異なる場合、参加しない単元については記入しなくてよい。

時数は、計算したい一人分だけを入力
※ Eさんの時数のみ入力した例

<p>〔年間目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを相手に伝えることができる。 ・学習の習慣を身に付け、継続的な取り組みができる。 ・自分の苦手なことやできないことを理解し、それらを解決するための方法を知り、実行することができる。
--

	目標	内容	評価
国語	目的や場面にに応じて社会生活の中から話題を決め、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、自分の考えを書くなど表現し、自分の考えを深めたり広げたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○常用漢字（2年）の読み ○出来事を順序良く整理 ○自分の考えの発表 	<p>スピーチ原稿を考え、わかりやすくまとめることができた。</p> <p>読解では選択肢があれば、心情を察することができた。</p> <p>漢字テストに向けて繰り返し練習できた。</p>
社会	都道府県や身近な地域、自分たちの県や市の様子を大まかに理解し、千葉県の地形や公共施設の場所、古くから残る建造物の違いを考え表現し、実践的に学ぼうとすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○47都道府県の名称と位置 ○我が国における県の位置 ○頒布会参加（公共の交通機関・販売） ○調べる内容を整理し、わかりやすくまとめ 	<p>自分たちの県や市の特徴を理解できた。</p> <p>自宅から駅までの場所を把握し、自転車や徒歩などの想定を変えて周辺地域を調べることができた。</p> <p>希望する進路先まで一人で行くことを想定し、練習できた。</p>
数学	正の数、負の数や、文字を用いた式についての意味を理解し、具体的な場面で活用することができるように、実際の数量について計算するなど粘り強く考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○時間や数、金銭などの数量の表現・処理 ○数学で学んだことを生活や学習に活用する。 ○加法及び減法に関して成り立つ性質を理解し、利用 	<p>在庫管理表から、正負の数を利用し正確に計算できた。</p> <p>目的地まで、時間に間に合うように行くにはどうするか、実際の電車の時間を調べて考えることができた。</p>
理科	物体の運動エネルギーを日常生活や社会生活と関連付けながら、力のつり合いと合成、運動の規制、力学的エネルギーに対して 観察や実験を通して関係性を表現し、科学的に探究しようとする態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ○観察・実験 ○人の体のつくりと運動、動物の活動や植物の成長と環境 	<p>おもりとバネの関係を実験をとおして理解した。</p> <p>おもりとバネを利用した身近な物についてあげ、日常生活にどのように活用されているか考えることができた。</p>
音楽	歌唱や器楽の活動を通して、表現に関わる知識や技能を得たり、曲にふさわしい音楽表現を創意工夫し、主体的に鑑賞の学習に取り組み、音楽に親しむことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○合唱曲の歌詞の意味理解 ○琴の音色や響きと奏法 ○鑑賞活動を通じた、友人との音楽のよさや美しさの話し合い 	<p>譜面の記号に注意しながら曲にふさわしい音楽表現をすることができた。</p> <p>「ブルタバ」を聴き曲調に注目して違いに気づくことができた。</p>
美術	対象や事象を捉える創造的な視点について理解し、意図に応じて表現方法を工夫して表す力を養い、豊かに発想し構想を練ったり、感じ方を広げたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○絵や彫刻 ○日本の美術作品の鑑賞 ○友人の作品の鑑賞・よいところを見つけ表現 	<p>描きたい風景をタブレット端末で繰り返し撮ることで、構図を考えることができた。</p> <p>篆刻制作では、自分で考えたデザインどおりに彫ることに苦労しながらも完成させた。</p>
保健体育	運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付け、自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養い、体力づくり運動に自主的に取り組むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ○陸上競技(短距離走・長距離走) ○球技(バドミントン・サッカー) ○感染症予防と健康を守る取り組み ○環境の変化への影響 ○災害と環境 ○ダンス（フォークダンス） 	<p>スポーツテストの種目を練習し、体の動きを工夫することで、記録更新を目指して努力できた。</p> <p>バドミントンでは、ラリーを続けることで技能を高めた。</p> <p>ソーラン節では友達との教え合いの中で細かい部分までこだわって演舞できた。</p>

技術・家庭	プログラミングによる計測・制御方法を知る。住まいの基本的な役割を理解し、住生活について問題を見出し課題を設定させ、振り返って改善したり、生活を工夫し実践しようとする。	○住居の機能と安全な住まい方 ○情報システム化に関わる基本的な仕組み ○CDラック製作 ○布製品の製作 ○頒布会への取り組み	住まいの基本的な役割を理解できた。 間取り図を作成し、住生活の問題を考えた。 自分の家庭生活を振り返り、よりよい整理の仕方や模様替えについて考えることができた。
職業・家庭	働くことの目的や進路に関わることについて理解し、将来の職業生活に向けて必要なことを考え、作業や実習に意欲や見通しをもって取り組む。	○ハチマキ製作 ○職業や進路調べ ○買い物・使い方	校内ハチマキ販売を通して、お金のやり取りを実践し、働くことの目的を知ることができた。 将来の職業生活に向けて必要な力を考え、意欲的に作業や実習に取り組むことができた。
外国語	小学校で習った表現を使ってやり取りしたり、自分の考えや気持ちを伝える技能を身に付け、情報を整理しながら英語で表現したり、身近で簡単な事柄について積極的に活動できる。	○単語の読み ○アルファベットの知識 ○疑問に思うことを質問（通学手段や朝食など） ○場面の表現	身近な単語を探すパズルを使って文字に慣れることができた。 アルファベット26文字の順番を理解した。 主語に合う動詞を選択肢の中から見つけることができた。
道徳	相手のことを思って行動したり、心に寄り添いながら接していくことの意味や態度がわかる。 相手の気持ちを読み取ることができる。	○場面を現した絵を見てどんな気持ちかをそれぞれの立場に立つ思考 ○教材を通して自分の考えや行動を振り返り	家族のことを考えるテーマでは、自分のことばかりではなく、家族の一員として今の自分のできることを見つけようと感想に書くことができた。
学習の時間	身近な交通機関や地域性などについて理解し、自らの進路選択のための情報と課題を整理し、他者の意見を取り入れながら課題の解決のために探求しようとするができる。	○進路選択のための学校調べと、通学のための交通機関調べ ○学級の話し合いに、役割をもって参加 ○学校調べの発表から、進路に関する情報交換を行い、それぞれに通学することを想定した課題のまとめ	進路学習を通して、自分の適性に合い将来の目標を実現できる進路を考える力が身についた。 話し合いや発表から他者の考えを取り入れ、自分の進路に向けて必要な力について考えることができた。
特別活動	交流学級や青葉学級での自分の役割を理解し、他者の役に立ったり社会に貢献したりすることの喜びを得ながら活動に取り組む。	○身の回りの整理や挨拶など ○学級の役割	給食の準備では、牛乳パックをそろえたり、配膳台を進んで拭いたりできた。交流学級での係の仕事や当番活動を忘れずに一生懸命できた。
自立活動	身近な人との関わりを通して安定した関係を築くことができる。	・まずは支援学級の生徒同士が関わる中で話し合ったり、協力したりしながら進める課題や作業を取り入れ、学級の友達から認められるようにする。その後、同学年の友達との関わりのおもしろさに気づき、一緒に活動する楽しさを味わう。 ・生活における様々な場面を絵で見て、登場人物の気持ちを想像したり考えたりする。 ・活動内容や活動時の報告・連絡・相談の方法を教師が事前に伝え、見通しをもって活動に取り組むとともに、活動中に報告や相談を行うことができるようにする。	社会や学校の中で起こる様々な場面をDVDや絵で見て、その場面の登場人物の気持ちを考えることができた。

個別の指導計画【前期】

2年

氏名

Fさん

〔年間目標〕
・読み書きの基礎基本を身に付けることができる。
・与えられた課題や役割を、途中であきらめることなく最後までやり切ることができる。
・生活力を身に付け、進路について考えることができる。

	目標	内容	評価
国語	本や文章から必要な知識や情報を集め、聞き手がわかりやすいように話す内容を整理して表現し、相手の反応を見ながら内容を工夫して伝え、身近に起きたことにも使おうとすることができる。	○中学1年までに学習した常用漢字の読み ○身近に起こったこと、経験したことを思い浮かべ、まとめ ○自分の考えを発表	物語の中から新たに知った言葉を書き留め、用例を見ながら、自分なりに言葉を使って例文を考えた。具体的な場面を想定し、練習をとおして相手に伝わるような表現の工夫を考えた。
社会	自然や社会的条件について学び、地域的特色と関連付けて多面的に考え、よりよい社会の実現を目指して、地域の課題を主体的に追及することができる。	○アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州 ○47都道府県の名称と位置 ○我が国における県の位置 ○頒布会参加（公共の交通機関・販売）	自分たちの市に興味を持ち、近隣の市や町の位置関係を理解できた。自宅から駅までの場所を把握し、自転車や徒歩などの想定を変えて周辺地域を調べることができた。
数学	加法及び減法、乗法除法に関わる数学的活動を通して計算する技能を身に付け、計算の意味や計算に関して成り立つ性質を見出し、粘り強く考える力を身に付けることができる。	○正負の計算の加法減法 ○正負の計算の乗法除法 ○和・差・積・商・以下以上未満など理解し数学的活動の取組	正の数・負の数の計算から、互いに反対の性質をもつことを理解し、加法や減法が正確にできた。文字の式では、いくつかの項があるときは同類項をまとめることができた。学んだ計算を製品の在庫管理などで自分から活用することができた。
理科	地震と大地の変化、音と光の性質について、水中のさまざまな生物について理解し観察や実験を通して関係性を表現し、科学見通しを持ったり振り返ったりし探究しようとする事ができる。	○観察実験 ○植物のはたらきを調べる実験 ○地震と大地 ○光と音 ○物質の成り立ちと化学変化	地震と大地の変化について調べ、岩石がどのようにしてできたかを考えた。植物のはたらきを調べるための実験に興味を持ち、光合成のしくみを調べた。
音楽	合唱曲の構造を理解したり、音楽の多様性を知り、思いや意図を持ってふさわしい歌い方を表現し、協働的に学習活動に取り組むことができる。	○合唱曲の歌詞の意味の理解 ○歌舞伎への親しみ・オペラの魅力 ○世界の諸民族の音楽、日本の郷土芸能や伝統音楽	合唱練習をとおして、楽譜の記号を読み取る練習をし、友達と協力して表現しようとした。
美術	色々な作品製作を通して色彩の基礎を学び、描く対象から感じ取った特徴や印象を表現し、学習活動に主体的に取り組もうとすることができる。	○ストーンアート・いろいろな風神雷神の味わい ○身近な自然物、レタリング、絵文字、ペーパーナイフ製作 ○友人の作品のよいところを見つけ表現	ポスターづくりでは、標語に合うデザインを考えることに悩みながらも、自分の考えに沿ったデザインを描き表すことができた。

保健体育	運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について理解するとともに基本的な技能を身に付け、自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養い、体力づくり運動に自主的に取り組むことができる。	○陸上競技(短距離走・長距離走) ○球技(バレーボール・バドミントン) ○感染症予防と健康を守る取り組み ○環境の変化への影響 ○災害と環境 ○ダンス(フォークダンス) ○剣道	長距離走では目標タイムから1周あたりのペースを決めて、それに近づけるように走ることができた。 剣道の特性や成り立ち、基本となる技の名称を覚え、着装して技を高めようと挑戦した。
技術・家庭	生物を育てる技術、目的とする生物の育成計画、衣服の状態に応じた手入れ方法を理解し、振り返って改善したり、生活を工夫し実践しようとするすることができる。	○衣服の選択について課題の解決に取り組む ○菊栽培の基本的な知識 ○布製品の製作 ○頒布会への取り組み	菊の栽培では植物が育つ環境条件を理解した。また、世話を通して、きれいに成長させる方法を考えた。 生活に必要な作品製作の中から、エコバック製作を通して、ミシン縫いの技能を高めた。
職業・家庭	働くことの目的や進路に関わることについて理解し、意欲や見通しをもって取り組み、作業や実習に達成感を得て進んで活動することができる。	○ハチマキ製作 ○職業や進路調べ ○買い物・使い方	売れた本数と作った本数を入力し、作らなければいけない本数を確認することを教師が伝えることで、学級で目標値を決め、役割が明確になり、作業効率が向上した。 ハチマキ製作ではミシン縫いの技能が向上した。
外国語	小学校で習った表現を使ってやり取りしたり、自分の考えや気持ちを伝える技能を身に付け、情報を整理しながら英語で表現したり、身近で簡単な事柄について積極的に活動できる。	○アルファベットの知識のもとに単語の読み、書き写し ○疑問に思うことを知るために通学手段や朝食など普段の行動を質問 ○場面の表現	アルファベット26文字の順番を理解した。 主語に合う動詞を選択肢の中から見つけることができた。 英語の基礎フレーズを練習し、場に応じたフレーズを考えて言うことができた。
道徳	あいさつや礼儀の意義について考えるを通して、時と場に応じた行動や態度を知る。 相手の気持ちを読み取ることができる。	○場面を現した絵を見てどんな気持ちかをそれぞれの立場に立つ話し合い	発言の回数は多くはなかったが、授業中の姿や感想から主人公に共感したり、自分なりに考えを深めていることがわかった。
学習的 総合的 時間	興味に基づいた将来の進路や居住地及び他市の地域性などについて理解し、それらを他者に伝えるための情報を整理して、自分から話し合いに参加しようとするすることができる。	○学級の話し合いに協力し、役割をもった活動への参加 ○上級学校調べ ○行事(修学旅行、体育祭)	班員とともに〇〇市について調べ、市内の班別行動計画について意見を交換し合い、実行することで、仲間と協力しながら取り組む力が身についた。
特別活動	交流学級や青葉学級での自分の役割を理解し、他者の役に立ったり社会に貢献したりすることについて考え、積極的に活動に参加することができる。	○身の回りの整理や挨拶など ○学級、学年の役割	自分の役割を理解し、係活動に最後まで取り組むことができた。掃除では、時間どおりに活動場所へ行き、自分の担当の役割を自ら果たすことができた。
自立活動	支援学級で友達との関わりを増やし、他者の気持ちを理解できる力を付ける。できることを褒めることで自信を付け、学級の友達から良い注目が得られるようにすることで、よりよい関係を学ぶ。	・家庭にも働きかけを行い、家庭での過ごし方や生活リズムを考えてもらいつつ、学習環境を整える。 ・生活における様々な場面を絵で見て、登場人物の気持ちを想像したり考えたりすることで、他者の意図や感情を理解したり、場に応じて適切な行動を学ぶ。 ・他者と関わる機会を意識的に設定し、相手の考えや自分の思いなどについて、整理して考える機会を設定する。	視覚的な情報を提示することで、相手の気持ちを想像できるようになった。友達との関わりの中で、言ってはいけない言動を理解し、自分の言動を振り返る場面も見られるようになった。